

# 「お客様が喜び、自分も楽しむみかんづくり」



谷脇 孝紀 (47歳) Uターン  
(愛南町)

## 1 就農の動機・理由

地元のJAに就職し、地域の農業振興や農家のためを第一に考え仕事に取り組んできた。

実家が農家でありいずれは農業をしようと考えていたので、両親が高齢となり農業を継続するのが難しくなる前にと思い就農した。

## ○農業用施設

農業用倉庫 1棟

## ○主要農業機械

軽トラック 1台

動力噴霧器 1台

トラクター 1台

田植機 1台

コンバイン 1台

刈り払い機 1台

## 2 農業経営の概要

### ○経営の展開

項目	就農時の経営 (2015年)	現在の経営 (2019年)	将来の経営 (2023年)
労働力	男1人(本人) (農業労働力)	男1人(本人) (農業労働力)	男1人(本人) (農業労働力)
経営耕地	水田 a 畑 a 樹園地 84a 計 84a (自作地、借地合わせた面積)	水田 47a 畑 a 樹園地 110a 計 157a (自作地、借地合わせた面積)	水田 47a 畑 a 樹園地 110a 計 157a (自作地、借地合わせた面積)
経営内容	河内晩柑 19a ポンカン 48a 文旦 17a	河内晩 45a ポンカン 41a 文旦 17a レモン 7a 水稻 47a	河内晩 45a ポンカン 41a 文旦 17a レモン 7a 水稻 47a

## 3 あしあと

### (1) 就農までの主な経歴

出身地 南宇和郡愛南町(旧城辺町)

職歴 JAえひめ南

H5年4月～H26年3月

就農研修歴 なし

就農年月 H27年1月

### (2) 就農時の思い

自分の周辺の農家がリタイヤしていくの見て、このままでは地域の農業が衰退していくという危機感を持っていた。

JAに勤務していたので、ある程度は地域の農業の状況を理解していたこともあり、自分が園地を守っていくことで地域の農業を維持していこうという思いで就農した。

#### 4 就農時の取り組み

##### (1) 技術の習得

J Aの栽培講習会で摘果や剪定の技術指導を受けたり、青年農業者協議会の研修会等で学んだ。

##### (2) 資金の準備

農業次世代人材投資事業（経営開始型：青年就農給付金）を活用した。

##### (3) 農地・住宅の確保

農地は、親の農地の一部を引き継いだ。

住宅は、J A勤務時代に既に取得していた。

##### (4) その他苦労したこと

就農当初は、病害虫防除や摘果など栽培管理がうまくいかず、収量や品質面で満足できるものが生産できなかった。

#### 5 農業経営の特徴

中晩柑主体の経営である。河内晩柑、ポンカン、文旦、レモンを栽培している。愛南町の基幹品目を経営の柱として、水稻を補完品目としている。

#### 6 これからの夢

現在の経営規模を維持していくことと、精品率を向上させ、お客様に喜んでもらえるかんきつをつくっていききたい。

また、農業の担い手としての自覚を持って農業経営に取り組み、愛南町の農業を元気にしていきたい。

#### 7 成功したキーポイント

両親が経営していた農業の基盤があったこと。

J A勤務時代の人脈があったことや地区の青年団、青年農業者協議会などの

組織活動に積極的に参加し、様々な仲間にも恵まれたこと。

#### 8 就農を目指す方へのアドバイス

農業は真面目に頑張れば結果は必ずついてきます。でも、サボれば自分に跳ね返ってきます。自分次第で良くもなり、悪くもなるのが農業です。

先を見据えた計画を立てて取り組んでいくことが大切だと思います。

##### ○ 指導機関からのひとこと

地域農業の担い手としての自覚を持って農業に取り組む姿勢は素晴らしいと思います。

地域の行事やサークル活動にも積極的に参加し仲間も大勢いる谷脇さんは、誰からも好かれる存在です。これからもその明るい性格で地域を盛り上げてほしいです。

#### 執筆機関

南予地方局産業振興課地域農業育成室  
愛南農業指導班

電話番号 0895-72-0149



園地で作業する谷脇さん